

書あり 師あり 友ありて

厳しい条件を乗り越えてくれました！



学校長 平田 高之

9月19日、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中のために、リレー種目をなくし、合同体操とソーラン節、マスゲーム中心の昨年以上に短縮したプログラムとなりました。また、最後の練習の仕上げの時期に台風14号による天候悪化により、十分な練習ができず順延しての開催という、厳しい条件での開催となりました。

そんな中でも、生徒会執行部・保体委員・マスゲーム委員を中心に、自分たちの力で体育大会を築き上げよう、特に、3年生はモチベーションを保つのが難しい中、最後の体育大会を素晴らしいものにしようとリーダーたちが頑張ってくれました。

では、当日の様子の一部をご紹介します。

朝一番のハイライトは「吹奏楽部のマーチング」でした。

吹奏楽部は、「吹奏楽コンクール」こそ開催されましたが、「吹奏楽の夕べ」や地域での演奏活動の中止が相次ぎ、しかも少ない練習時間の中で、自分たちの演奏を披露する機会でした。開会宣言後のファンファーレは、2年越しの東京オリンピックの聖火リレーのスタート地点の天文科学館で演奏する予定でしたが、中止となり披露できなかった曲です。精一杯の演奏をしてくれました。10月に実施予定の定期演奏会を楽しみにしています！



続いては、1年生の「ソーラン節」です。

一昨年度まで「全校ソーラン」として取り組んでいたものを、昨年度は「2・1年合同ソーラン」として実施していたのですが、密を避けるために学年ごとの実施としました。人丸小学校出身の77回生は、6年生時の小学校最後の体育大会が、学校全体ではなく学年層ごとの実施で、さらに、本年度は学年単独での演技となってしまいましたが、学年のまとまりが見られた1年生らしいはつらつとした踊りを披露してくれました。

それに続き、2年生の「ソーラン節」です。

昨年度は、2年生をリーダーとして2学年で行い1年生を引っ張る役割を担ってもらっていたものが、今年は学年単独になってしまいました。しかし、昨年度の経験を活かし、1年生にさすが先輩と感じさせる踊りを披露してくれました。合同体操の動きも素晴らしかったですね！すでに、部活動では、新チームとなり中心となっていますが、今後、学校の中心となっていくんだという自覚をさらに高めていってほしいと願っています。



最後は何と言っても、3年生マスゲームです！

本当に短い、しかも天候不良により十分な練習時間を確保できなかった中ですが、75回生は、学級、学年全体の集団のまとまりがとてもいい学年です。生徒会執行部、保体委員、マスゲーム委員のリーダーたちを中心に、今回マスゲームを担当した古川と一緒に相談しながら練習を重ねて、男女力を合わせて素晴らしい演技で第75回体育大会の有終の美を飾ってくれました。何より演技後の生徒たちの満足した表情が印象的で嬉しかったです。



今回の体育大会は、緊急事態宣言中ということで「無観客」という形での実施となりました。感染拡大防止にご理解ご協力を頂きましたことを改めてお礼申し上げます。また、お子様にとっては、イメージしていた体育大会とは違ったものになってしまったかと思います。ただ、そのことをマイナスで捉えるのか、このような状況でも実施できたとプラスに変えて前向きに捉えて取り組んでくれ、これからの中学校生活をより良いものにしてけると期待しています。今回の経験を今後の成長につなげられるように取り組んでまいりますので、引き続きご理解ご協力をよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。